

平成30年7月25日

関東運輸局

《公共交通フェスタ》

「まちの快適空間づくりから考える公共交通 2018」

を開催します

今後急速に進展すると見込まれる少子高齢化や大規模商業施設の郊外立地化による駅などの地域の拠点性の低下、まちの個性の喪失に苦しむ地域が多く見られ、こうした地域においては、公共交通の維持が困難な状況となってきました。

関東運輸局では、こうした問題への対策の一環として、昨年度から「まちの快適空間づくりから考える公共交通」をテーマにシンポジウムを開催しています。今年度は、より気軽に学んで頂こうと「公共交通フェスタ」と題し、空間デザインの専門家による基調講演、公共交通やまちづくりの関係者による事例紹介を行い、地域の再生に向けた方向性、道筋を探ります。

本フェスタは、行政機関及び交通事業者方々のみならず、一般の方にも広く参加頂き、魅力あるまちづくりの一助としていただければ幸いです。

記

【開催概要】

1. 日 時 平成30年9月5日（水）13:00～17:30（開場 12:15）
2. 場 所 横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール 4階ホール
（横浜市鶴見区鶴見中央 1-31-2）
3. 対 象 行政機関、交通事業者、観光事業者、まちづくり関係者等
（募集人員：先着300名程度）
4. 参加費 無 料
5. 参加登録 参加又は取材希望の方は、E-mailにてお申し込みを受け付けます。
 - ・ e-mail：別紙「参加申込書」を関東運輸局ホームページ（<http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/>）よりダウンロードし、各事項をご入力の上、ファイルを下記アドレスに送信
※関東運輸局ホームページの「トピックス」にリンク掲載しています。
送信先：ktt-kikaku-jimukyoku@ml.mlit.go.jp
 - ・ FAXによるお申込みの場合には、045-201-8807 まで送付締切日：平成30年8月24日（金）
なお、申込多数の場合、ご参加いただけない場合もあります。
6. 主 催 関東運輸局

【問い合わせ先】

関東運輸局交通政策部 交通企画課 藤田、川村

tel:045-211-7209 fax:045-201-8807

【同時配布先】

茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、群馬県政記者クラブ、千葉県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、都庁記者クラブ、横浜海事記者クラブ、関東運輸局記者会[ハイタク等専門紙]

開催趣旨

本フェスタは、公共交通機関を常時利用している方はもちろん、利用する機会の少ない方にとっても、駅前を含めた駅やバス停などの公共交通施設が「まち」の「快適空間」となり、公共交通及び「まち」が活性化していくことを願い、交通事業者、行政担当、学識経験者により、現状、課題、方策等について幅広く意見交換を行うものです。住んで楽しく、訪れて楽しい、魅力あるまちづくりの一助となれば幸いです。

【フェスタ概要】

- 13:00 主催者挨拶
- 13:10 取組報告（関東運輸局、関東地方整備局）
- 13:20 基調講演1「人の評価の特徴から考える空間の魅力づくり」
（一社）まちの魅力づくり研究室理事／東京大学名誉教授 堀 繁 氏
（休憩）
- 14:30 話題提供 バス停写真集やカーフリーダーの紹介等
- 14:40 基調講演2「見えないニーズ汲み取りと建築デザインの役割」
（株）イチバンセン 一級建築士事務所 代表取締役／千葉大学講師
川西 康之 氏
（休憩）
- 15:50 鶴見中継所 たすきリレー（事例報告）
- ① JR 東日本「品川駅と周辺のまちづくり」
 - ② 小田急電鉄「心地よい駅空間作りへの取り組み」
 - ③ 相鉄バス「地域と身近な交流による新たなバス待ち環境の構築」
 - ④ エムシードゥコー社「広告付きバス停の現状」
 - ⑤ 茨城県筑西市「日本一クルマの多い街の公共交通施策」
 - ⑥ 兵庫県姫路市・神姫バス「姫路駅北駅前広場の整備について」
- 17:00 全体まとめ
- 17:30 閉会



公共交通フェスタ

まちの快適空間づくりから考える公共交通 2018

～都会の進化と地方の反撃～



※会場に駐車場のご用意はありません。
公共交通でお越し下さい。

平成30年9月5日（水）

13:00～17:30（開場12:15）

横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール

募集：300名 参加費無料

主催：関東運輸局

協力：関東地方整備局、関東経済産業局、（株）時事通信社、（株）茨城新聞社、（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構、（独）都市再生機構、（一財）運輸総合研究所、（一財）国土技術研究センター、（一社）鉄道建築協会、関東商工会議所連合会、（公社）日本観光振興協会、（公財）交通エコロジー・モビリティ財団、関東鉄道協会、（一社）茨城県バス協会、（一社）栃木県バス協会、（一社）群馬県バス協会、（一社）埼玉県バス協会、（一社）千葉県バス協会、（一社）東京バス協会、（一社）神奈川県バス協会、（一社）山梨県バス協会

【講師プロフィール】

堀 繁 氏

一般社団法人 まちの魅力づくり研究室 理事、東京大学名誉教授
専門 景観デザイン、景観工学、計画設計思想史、地域計画

経歴 1952年東京生まれ。東京大学農学部卒業後、環境庁自然保護局主査、東京大学農学部助手、東京工業大学社会工学科助教授、東京大学アジア生物資源環境研究センター教授を経て、平成30年4月より現職、6月より名誉教授。国土審議会、歴史的風土審議会、国会等移転審議会の各専門委員の他、埼玉県景観審議会会長、立川市景観審議会会長、成田市景観審議会会長、朝霞市景観審議会会長、など国、公団、地方公共団体の各委員会座長・委員等を歴任。地域の発展を前提とした景観、地域活性化、まちづくり、観光の計画設計を中心課題とする。



川西 康之 氏

株式会社 イチバンセン 一級建築士事務所 代表取締役

経歴 1976年（昭和51年）奈良県生まれ。千葉大学大学院自然科学研究科デザイン科学（建築系）博士前期課程修了の後、フランス国有鉄道交通拠点整備研究所などの勤務を経て、現在、株式会社イチバンセン 一級建築士事務所 代表取締役。あわせて、千葉大学工学部建築学科非常勤講師、高知県産業振興アドバイザーなどを努め多忙な日々を送る。

主な作品として、土佐くろしお鉄道中村駅リノベーションで、2014ブルネル賞優秀賞、国土交通省第9回日本鉄道賞特別表彰地方鉄道駅舎リノベーション賞、他。また、えちごトキめきリゾート雪月花にて、ローレル賞他多数の賞を受賞。日経アーキテクチュア（日経BP社刊）「次世代の変革者100人」にも選定。



（えちごトキめきリゾート雪月花）



（えちごトキめきリゾート雪月花 車内）



（土佐くろしお鉄道中村駅リノベーション）